

宇城市工第1105号  
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様  
(熊本河川国道事務所 経由)

宇城市長 阿曾田 清



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号にて提出依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出致します。

## 今後の道路行政についての意見・提案

様式①

### ①「 路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県宇城市

全国の道路網は、国道・都道府県道・幹線市町村道・一般市町村道から構成されております。道路の役割は、国土全体の経済・社会活動を支える国道から生活環境を形成する一般市町村道まで様々なものがあります。

地域住民の生活を守る市町村道は、毎日の生活に密接した道路であり、住民にとって重要な役割を果たしております。しかし、改良率、舗装率は低く、なかなか整備率が上がらない状況にあります。このような中、昭和29年にスタートした年次道路整備五箇年計画等により整備推進が図られているものの、現状では末端部までの整備は未だ進んでいません。現在、道路整備の予算は全国的な財政状況の悪化により、毎年、減少の一途を辿り将来の道路行政について、道路維持管理費が最も懸念されるものと思料しております。

平成21年から道路特定財源制度は、一般財源化されることになりましたが、地方道路整備の必要性や厳しい財政の実態に鑑み、地方の道路整備や維持・補修を着実にを行うための財源確保や配分について、明確な制度を確立していただきたい。

また、遅れている地方の道路整備と計画的修繕・更新を地方公共団体が主体的に行うことができる新しい制度や現行制度の補助率の改善を強く要望するものであります。

②－１ 地域の現状と抱える課題

熊本県宇城市

○現状

宇城市は九州の大動脈である国道３号と西は天草、東は宮崎県への結束点という地理的条件から、近年は都市圏への通勤・通学可能なベッドタウンとして住宅地の開発や建設も進み、交通量・人口も増加の傾向にあります。

しかしながら、市域や都市圏との交通網の整備が遅れ、また、ＪＲ鹿児島本線によって市街地が二分化されています。

そのため市街地と都市圏を結ぶ主要道路は混雑し、特に朝夕の通勤通学時間帯には慢性的な交通渋滞が生じている状況にあります。

今後、東西を結ぶ幹線道路、都市圏と市域を結ぶ道路の整備などを推進し、地域産業の発展や地域交流の促進及び地域連携の強化を図る必要があると思料しております。

○課題

宇城市の市道延長は、約９８５km ありますが、その改良率は５５．３％と低く、地域の生活基盤の強化、良好な生活環境の確保を進めるうえで大きな障害となっております。そのため、本市では、特に地域住民の道路整備に対する期待と要望は非常に強いものがあります。しかし、本市は道路整備計画の中で「膨大な延長を抱える市道の整備を一律に進めることは財政的に困難、また効率的でない」と判断し、合併後、本市の重要な根幹をなす道路を選定し、道路整備延長約９４km、事業費約８９億円の道路整備１０か年計画を作成したところであります。この計画を具体化するには財政的な問題が大きな課題であります。現状では補助事業、交付金事業、合併特例債等を活用する予定しております。しかし、交付金事業の県への割当の減少、起債額の限度、公債費率向上など、予定通り進むものか、大変、懸念しているところであります。

宇城市の道路整備率の向上は、住民生活の向上に繋がって参ります。そのため、道路特定財源制度を堅持しつつ、自治体への補助率の改善（上乘せ）と、道路維持事業についての補助事業等の新規制度を含めた改善を提案いたします。

②－２ 地域の目指すべき将来像

熊本県宇城市

宇城市は、「誰もが暮らしやすい都市づくり」、「誇りあるふるさとづくり」、「力強い産業づくり」を目指しております。そのため、活力と魅力あるあふれる快適社会の形成に向け、安定した生活・産業のインフラ整備に取り組んで参ります。

道路行政については、市役所、駅周辺を中心とした、環状線的な道路網整備を行うこと、また地域の一体性の確立や連携の円滑化に向けて計画的な整備を行うこと。さらに生活道路については、市民の身近な生活空間としての整備を行うことなどに取り組むこととしております。しかしながら、②－１で述べましたとおり難題が山積しているのは事実です。

②－１での提案のとおり、道路整備率の向上は、生活環境の強化に繋がっております。そのため、道路特定財源制度を堅持しつつ、自治体への補助率の改善（上乘せ）と、道路維持事業についての補助事業等の新規制度を含めた改善を強く提案するものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

熊本県宇城市

| ○重点事項                   | ○代表事例                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ○期待する効果や評価等                                                        | ○その他 |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------|
| <p>活力と魅力あふれる快適社会の形成</p> | <p>市中心部の道路網構築（環状線）する中の一路線として、国道３号線と国道２６６号線を結ぶ路線、総延長４．８km、総事業費４７億円の道路整備事業を計画しております。平成１８年度から第一期事業として、延長２．５km、事業費２０億円に取り組んでおります。平成２１年度からは道路交付金事業として実施することとしておりますが、県への割当事業費が年々減額され、合併特例債が活用できる平成２６年まで完成できるか危惧しているところがあります。国道と国道を結ぶ重要な路線としてご認識をいただき、重要な路線として位置付けており、国県の特別な援助制度の構築を提案いたします。</p> | <p>慢性化している市中心部の渋滞をこの事業によって緩和、解消することができ、地域の一体性の確立や連携の円滑化に繋がります。</p> |      |